

市民参画・職員参画に御協力いただいた皆様



IX 市民参画

(1) 鎌倉こどもミライミーティング

ア 日時及び場所

(7) 1回目

令和6年(2024年)5月19日(日)午前10時30分から正午まで

MUJIcom ホテルメトロポリタン鎌倉

(1) 2回目

令和6年(2024年)5月19日(日)午後1時30分から午後3時まで

MUJIco ホテルメトロポリタン鎌倉

イ 参加者

市内在住又は在学の小学生及び中学生の中から応募のあった21名(1回目は13名、2回目は8名)

(2) 市民ワークショップ「わたしたちが描く 미래の鎌倉」

ア 第1回「鎌倉への想いを聞く」

(7) オンライン意見聴取

a 意見聴取期間

令和6年（2024年）4月26日（金）から5月12日（日）
まで

b 意見数

計28件（問1は19件、問2は9件）

(イ) 市民ワークショップ「わたしたちが描く未来の鎌倉」

a 日時及び場所

(a) 鎌倉会場

令和6年（2024年）5月18日（土）午後2時から午後4時まで
鎌倉市役所講堂

(b) 大船会場

令和6年（2024年）5月26日（日）午後2時30分から午後4時30分まで
玉縄学習センター分室第3集会室

b 参加者

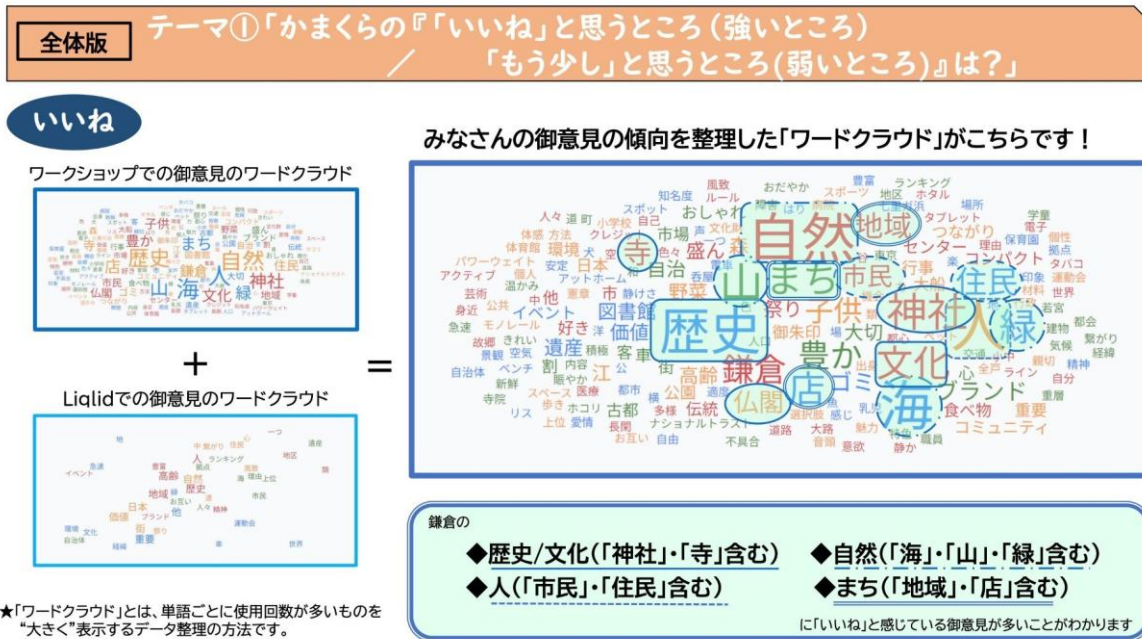
市内在住の小学生以上の方で参加を申し込んだ市民70名のうち、

(a) 鎌倉会場 31名

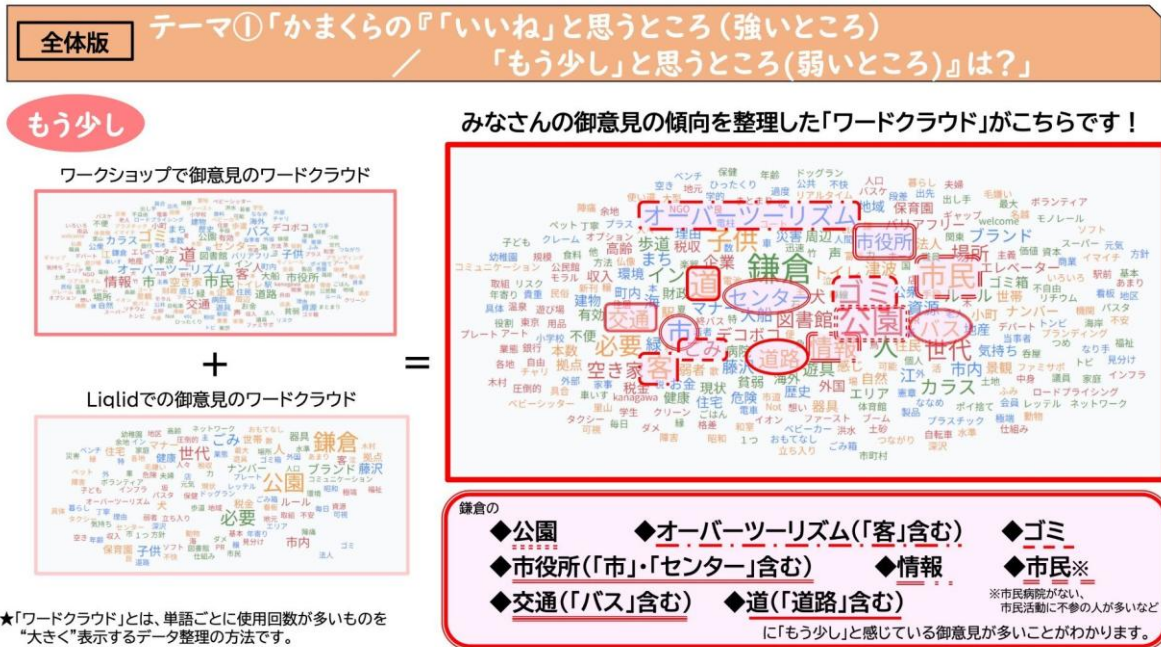
(b) 大船会場 18名

(ウ) 結果

図表 IX-(2)-ア-(ウ)-① 「かまくらの『「いいね」と思うところ(強いところ)』は？」の結果



図表 IX-(2)-ア-(ウ)-② 「かまくらの『「もう少し」と思うところ(弱いところ)』は？」の結果



図表 IX-(2)-ア-ウ-③ 「かまくらの『キャッチフレーズ』は？」の結果

テーマ②「かまくらの『キャッチフレーズ』は？」

みなさんからいただいたキャッチフレーズ

- ◆「未来といにしえが響きあう鎌倉」 ★★★
- ◆「古くて新しい心がつながる鎌倉時間」 ★★★
- ◆「五季五感 古都鎌倉」 ★★★
- ◆「歴史と現在(いま)がある鎌倉 / 子供により良い安全な暮らしを」 ★★
- ◆「『あたらしい鎌倉』やさしく・ゆったり・ホッとする」 ★★
- ◆「ときをこえて いきたくなる街」 ★★
- ◆「みんなでつむぐ 豊かな自然と文化」 ★★
- ◆「自然・文化とともに 未来へ、鎌倉」 ★
- ◆「市民参画で躍動する古都へ」 ★
- ◆「人と自然とアート ホッとできる 平和のまち 住まなきや 鎌倉！」 ★
- ◇「しあわせの町、鎌倉」
- ◇「鎌倉でよかった。」
- ◇「いい故郷(くに)、明るい鎌倉市。」
- ◇「繋いでいこう、私たちの鎌倉」
- ◇「歴史、だけじゃない。住もう、鎌倉。」
- ◇「四季おりおり鎌倉」
- ◇「自分らしく暮らせる街、鎌倉市」
- ◇「いざ鎌倉は、そなえよつねに。」
- ◇「心の笑顔」

◆は市民参加ワークショップ(WS)での意見です。★数はWS時の投票時の結果を表しています
◇はオンライン意見聴取での意見です(オンライン意見聴取では投票を行っていません)

イ 第2回「理想の鎌倉を思い描く」

(7) オンライン意見聴取

a 意見聴取期間

令和6年(2024年)6月3日(月)から6月16日(日)まで

b 意見数

計19件(問1は11件、問2は8件)

(イ) 市民ワークショップ「わたしたちが描く未来の鎌倉」

a 日時及び場所

(a) 大船会場

令和6年(2024年)6月23日(日)午後2時から午後4時まで
鎌倉芸術館会議室1

(b) 鎌倉会場

令和6年(2024年)6月29日(土)午後2時から午後4時まで
鎌倉市役所全員協議会室

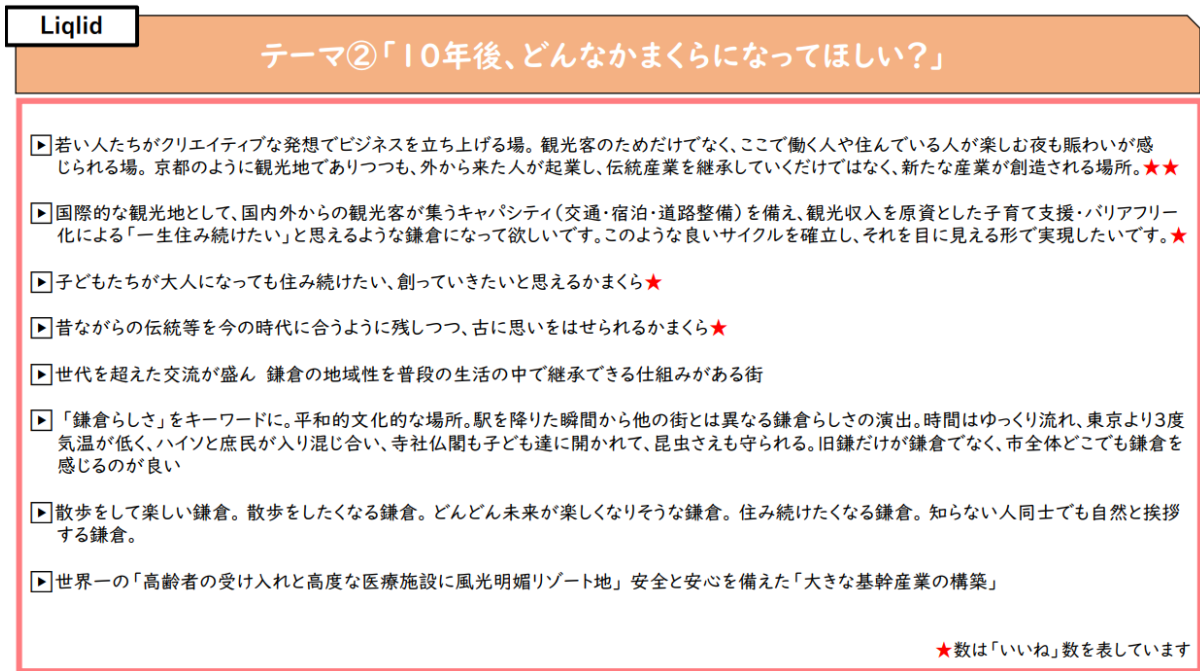
b 参加者

市内在住の小学生以上の方で参加を申し込んだ市民70名のうち、

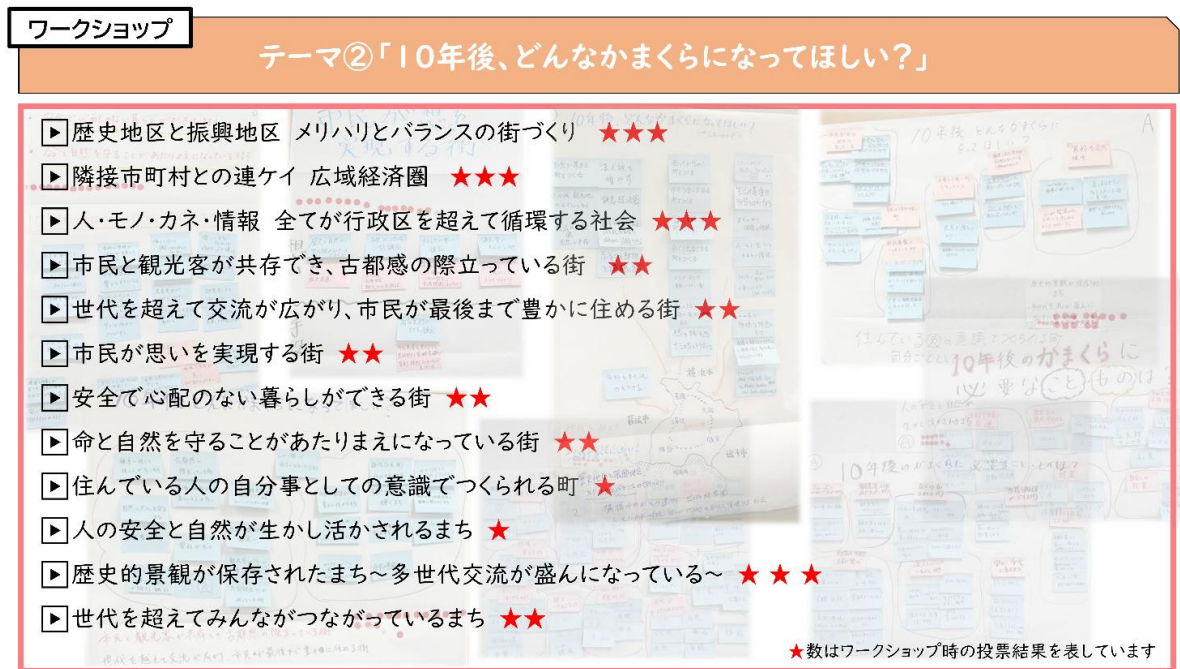
(a) 大船会場 26名

(b) 鎌倉会場 15名

図表 IX-(2)-イ-(ウ)-③ 「10年後、どんなかまくらになってほしい？」のオンライン意見聴取の結果



図表 IX-(2)-イ-(ウ)-④ 「10年後、どんなかまくらになってほしい？」の市民ワークショップの結果



ウ 第3回「具体的にイメージする」

(7) オンライン意見聴取

a 意見聴取期間

令和6年(2024年)7月1日(月)から7月15日(月・祝)
まで

b 意見数

計72件(問1は62件、問2は10件)

(イ) 市民ワークショップ「わたしたちが描く未来の鎌倉」

a 日時及び場所

(a) 鎌倉会場

令和6年(2024年)7月20日(土)午前10時から午前12時まで
鎌倉生涯学習センター第6集会室

(b) 大船会場

令和6年(2024年)7月28日(日)午前10時から午前12時まで
玉縄学習センター分室第3集会室

b 参加者

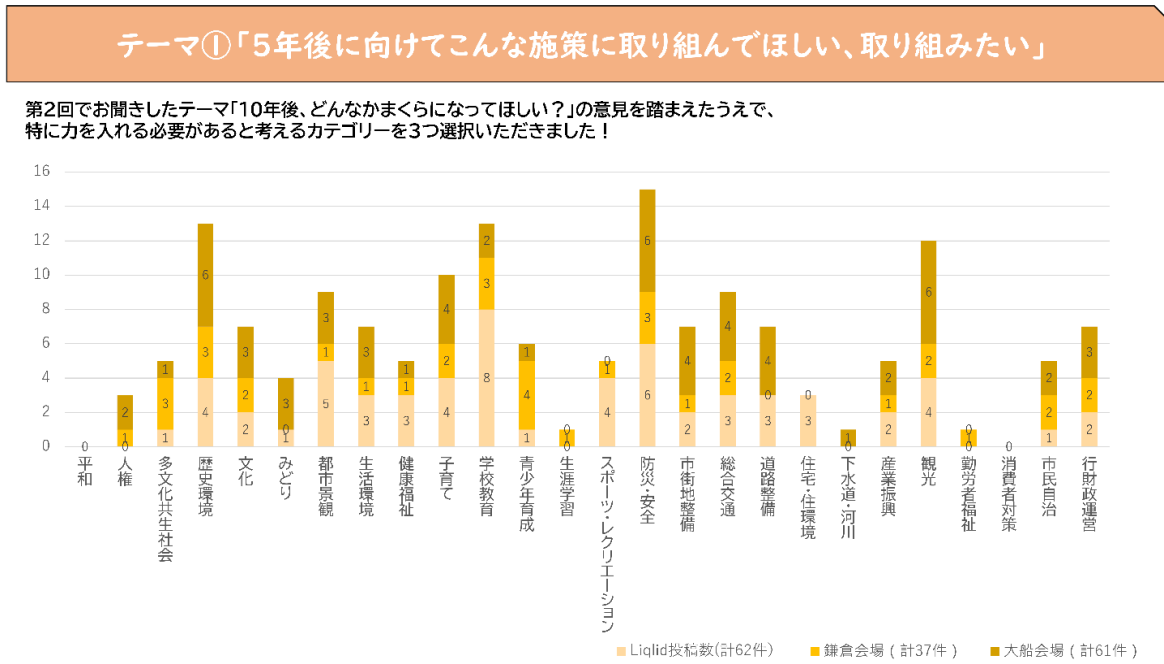
市内在住の小学生以上の方で参加を申し込んだ市民70名のうち、

(a) 鎌倉会場 14名

(b) 大船会場 15名

(ウ) 結果

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-① 「5年後に向けてこんな施策に取り組んでほしい、取り組みたい」の結果



図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-② 「5年後の施策目標を考えよう」のオンライン意見聴取の結果(1)

Liqid **テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」**
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

総合交通 **道路整備** **市街地整備**

2029年は深沢地区の再開発において街開きされたタイミングになり、市内外から見て魅力的な街作りを行う土壌としての条例(迷惑防止・交通・公共施設)が早期に整備・修正されていてほしい。戸塚・藤沢・村岡等と連携したパーク&ライドなど、鎌倉市で補えないキャパシティを考慮して検討願います。

観光

国内外の観光客から宿泊税や入域税を徴収して、市民生活に還元されている **【Liqid/投稿内容(1)】**

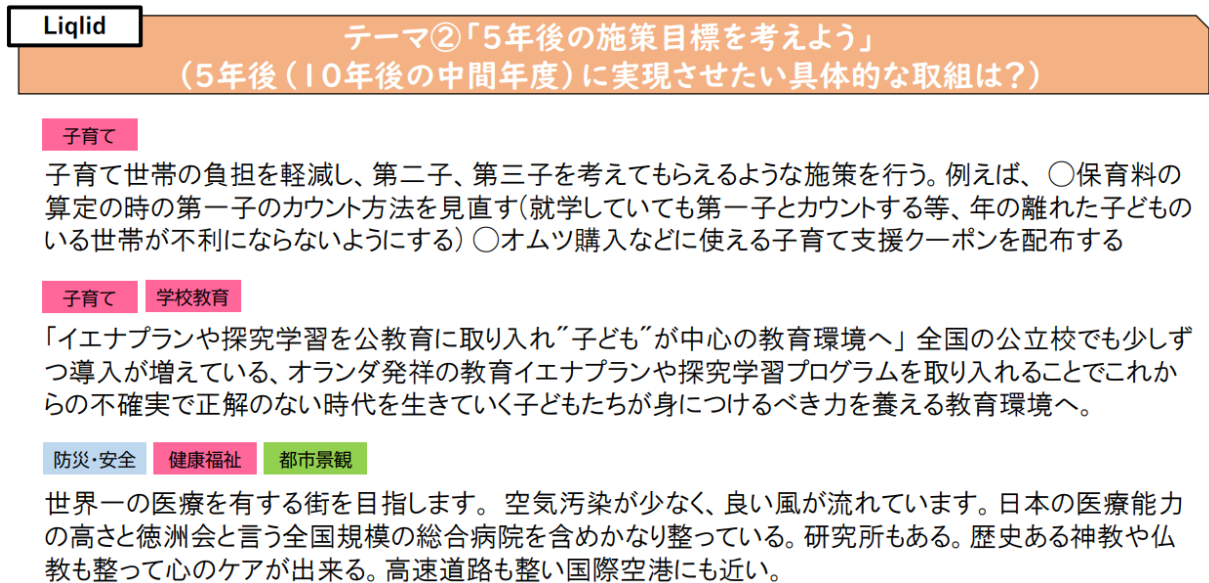
子育て **みどり**

現存する緑地を削らずに保全し、自然豊かな子育て環境を守る市であって欲しい。鎌倉野菜を多く育てる関谷城廻地区において、山や森を削る開発は悪影響しかない。緑に囲まれた土地に魅力を感じて移住してきた子育て世帯が転出してしまう前に、自然環境と鎌倉野菜を守り、財政に活かす取り組みを。

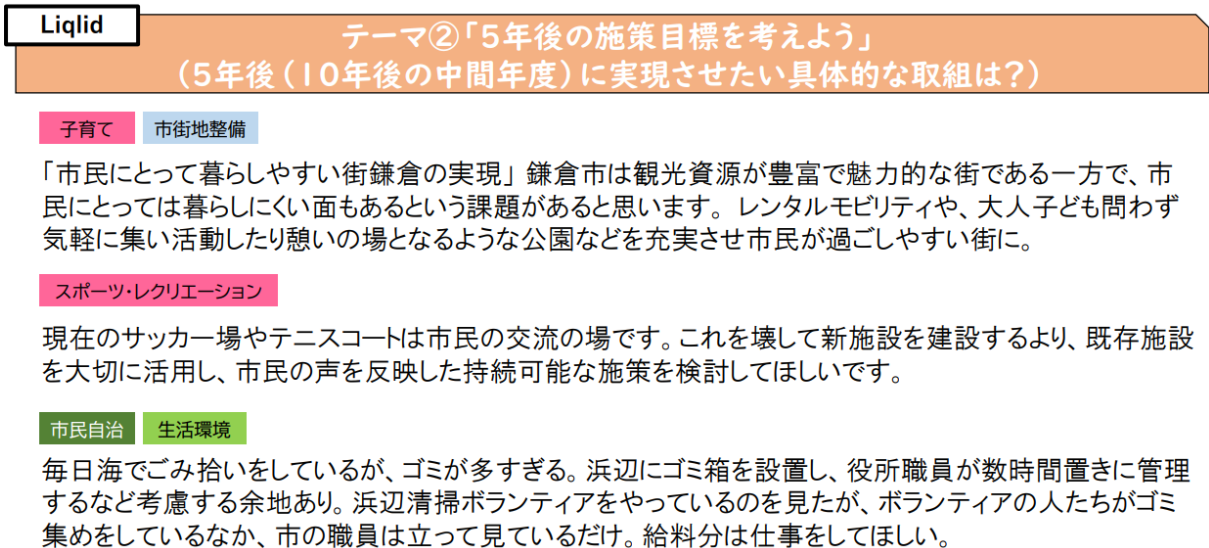
分類なし

住宅はストックも沢山ある為、鎌倉にこれ以上の造成開発はいらぬ。すでに鎌倉山は岡化している。今ある土地を有効にかつ、安全に使える様にする。産業発展や開発を促進する為にそういった地域を設け、集約すると良い。鎌倉はほぼ住宅地で音の出る様な開発に不向きになりつつある。打開すべき。

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-③ 「5年後の施策目標を考えよう」のオンライン意見聴取の結果(2)



図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-④ 「5年後の施策目標を考えよう」のオンライン意見聴取の結果(3)

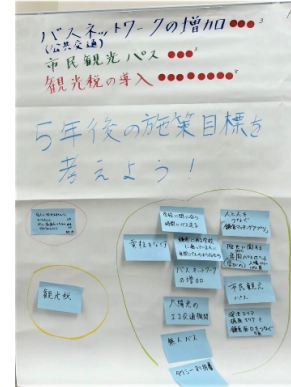


図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑤ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(1)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

歴史環境 & 生活環境

- ①バスネットワーク(公共交通)の増加
 - ・深沢エリア・梶原エリアと鎌倉西口をつなぐ交通
 - ・学校に間に合う時間にバスが走る
 - ・太陽光のエコ交通機関
 - ・無人バス
 - ・電柱をなくす
 - ・タクシー利用券
 - ・バスネットワークの増加
- ②市民観光パス
 - ・歴史文化に関する学びの年間パスポート・入場フリーパス券
 - ・鎌倉にある学校に通っている人に年間パスのようなものを
 - ・人と人をつなぐ「鎌倉マッチングアプリ」
 - ・市民観光パス
- ③観光税の導入
 - ・観光税の導入



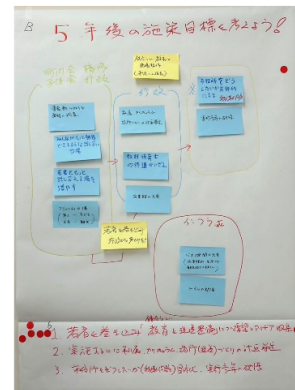
【鎌倉会場 A】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑥ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(2)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

鎌倉らしい教育と環境整備(子供への投資)

- ①若者を巻き込み「鎌倉らしい教育と環境整備」について要望とアイデア収集
 - ・学童・親に対する要望の調査
 - ・みんながもっと納得できるような話し合いの場
 - ・若者ともっと話し合える場を増やす
 - ・コミュニティの場(老人—子ども、市民—観光)
- ②実施するには制度、カリキュラム、場所(環境)づくりの計画策定
 - ・制度、カリキュラム、場所づくりの計画策定
 - ・教師、保育士の待遇改善
 - ・図書館の充実
- ③市役所をどうしたいか(移転問題)具体化、実行予算の確保
 - ・公共機関の充実(渋滞緩和、生活しやすい、観光税での補填)
 - ・トイレの整備



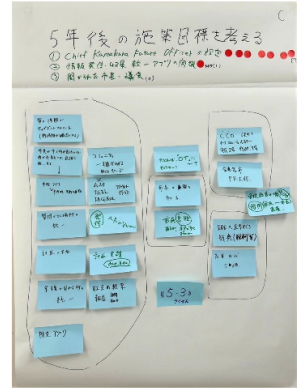
【鎌倉会場 B】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑦ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(3)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

市民自治・行財政運営

- ① Chief Kamakura Future Officer(チーフ・カマクラ・フューチャー・オフィサー)を設定する。
 - ・市民・行政等から選出し、鎌倉の取組を広くわかりやすく発信
 - ・鎌倉市のPR大使を委嘱
- ② 情報発信・収集統一アプリの開発
 - ・市民が市で何が起きているのか、何が必要なのか、認識を統一する
 - ・防災アプリ
 - ・収支結果報告
- ③ 開かれた市長・議会
 - ・市長の顔を知る



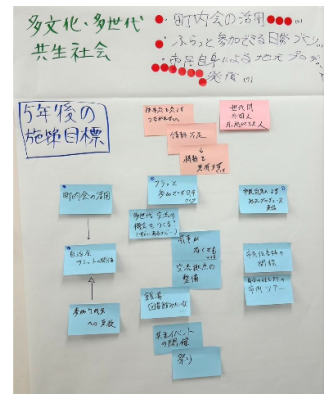
【鎌倉会場 C】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑧ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(4)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

多文化共生社会

- ① 町内会の活用
 - ・自治会サミットの開催(参加町内会への支援)
- ② ふらっと参加できる日常づくり
 - ・多世代交流の機会創出
 - ・用事がなくても行くことができる交流拠点(銭湯・図書館など…)の整備
 - ・共生イベント・お祭りの開催
- ③ 市民自身による地元プロデュース・発信
 - ・市民伝言板の開設
 - ・自分の住むところの市内ツアー



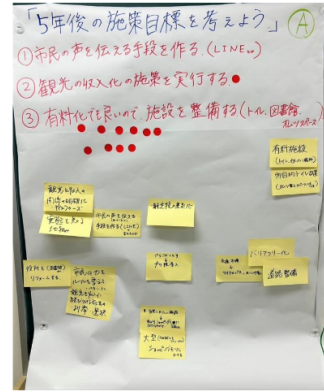
【鎌倉会場 D】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑨ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(5)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

次世代・子育て

- ①市民の声を伝える手段を作る(LINEとか)
 - ・市民の声(困っていること)を伝える手段を作る(LINEで言えるとか)
 - ・市民の力をルールを変えるパワーに
 - ・実態を知る仕組み
- ②観光の収入化の施策を実行する
 - ・観光と収入の関係の明確化・ディスクローズ
 - ・観光を収入に結びつける方法の列挙・選択
 - ・観光税の差別化 ・プラごみを減らす→プラ税の導入
- ③有料化でも良いので施設を整備する(トイレ、図書館、オムツスペース)
 - ・施設のバリアフリー化
 - ・子供にやさしい施設→市からショッピングセンター・こども施設に働きかける
 - ・役所(図書館etc)をリフォームする
 - ・オムツ替えスペースにもなる多目的トイレ設置 ・有料でも施設(トイレ・休憩場所)整備



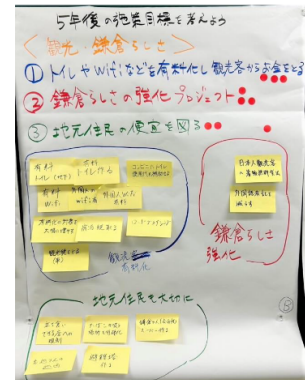
【大船会場 A】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑩ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(6)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

観光・鎌倉らしさ

- ①トイレやwifiなどを有料化し観光客からお金をとる
 - ・有料トイレ(地下) ・コンビニにトイレの使用代を補助
 - ・有料wifi ・外国人wifi有料
 - ・有料化の対象を大幅に増やす
 - ・宿泊税を取る ・観光税をとる(車)
- ②鎌倉らしさの強化プロジェクト
 - ・日本人観光客への着物無料貸出
 - ・外国語表記を減らす
- ③地元住民の便宜を図る
 - ・立ち食いできる店への規制 ・たばこの吸う場所を明確化
 - ・鎌倉の人(会員制)スーパーを作る ・お巡りさんの巡回
 - ・避難塔作る



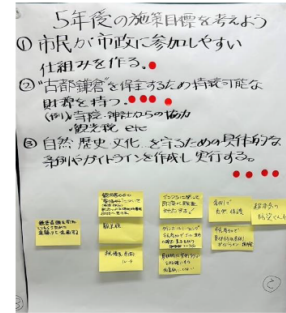
【大船会場 B】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑪ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(7)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

市民憲章ベースの命を意思決定の中心におく市民自治

- ①市民が市政に参加しやすい仕組みを作る。
 - ・タウンホールミーティング市民参加でゴール・進捗の確認・是正を行う。
年2～3回
 - ・インフラに関して即座に調査対応する!
- ②“古都鎌倉”を保全するため持続可能な財源を持つ。
(例)寺院・神社からの協力 観光税 etc.
 - ・観光税
 - ・市民優先車両ルート
 - ・観光客からの“参拝料”(寺院・神社)について観光による現状・改善策財政に充てる
- ③自然・歴史・文化…を守るための具体的な条例やガイドラインを作成し、実行する。
 - ・具体的な実行アクションを明確にする。抽象的にしない
 - ・条例で自然保護 ・市民参加で具体的な条例、ガイドライン、説明会
 - ・超本気の防災訓練 ・鎌倉音頭を周知してもらうために盆踊りを企画する



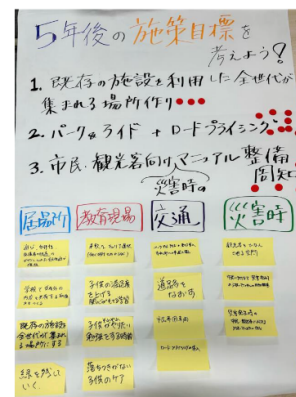
【大船会場 C】

図表 IX-(2)-ウ-(ウ)-⑫ 「5年後の施策目標を考えよう」の市民ワークショップの結果(8)

ワークショップ テーマ②「5年後の施策目標を考えよう」
(5年後(10年後の中間年度)に実現させたい具体的な取組は?)

子どもの未来を支える生活環境

- ①既存の施設を利用した全世代が集まれる場所作り
 - ・既存の施設を全世代が集まれる場所にする
 - ・遊び・多様性、保護者の快適のデザインされた全天候遊び施設
- ②パーク&ライド+ロードプライシング
 - ・パークアンドライドの更なる導入
 - ・市中心部への車進入禁止
 - ・ロードプライシングの導入
 - ・市民専用車両
- ③市民・観光客向け災害時のマニュアル整備(周知)
 - ・市民に対する災害発生時の対応マニュアルの周知徹底
 - ・災害発生時の市民・観光客に対する対応マニュアル作成
 - ・観光客を避難させる空間



【大船会場 D】

(3) 市民ワークショップ結果に対する市民投票

市民ワークショップの第3回で出された意見について、「実現してほしい取組」「自分でやってみたい取組」の市民投票を行いました。

ア オンライン意見聴取

(7) 意見聴取期間

令和6年(2024年)8月26日(月)から8月20日(金)まで

(1) 意見数

- a 実現してほしい取組 10件
- b 自分でやってみたい取組 6件

イ 市民投票

(7) 鎌倉市役所本庁舎

a 意見聴取期間

令和6年(2024年)8月26日(月)から9月9日(火)まで

b 意見数

- (a) 実現してほしい取組 43件
- (b) 自分でやってみたい取組 14件

(1) 玉縄支所

a 意見聴取期間

令和6年(2024年)9月3日(火)から9月9日(火)まで

b 意見数

- (a) 実現してほしい取組 19件
- (b) 自分でやってみたい取組 3件

(7) 放課後かまくらっ子(にかいどう子どもの家(鎌倉)、こしごえ子どもの家(腰越)、やまさき子どもの家(深沢)、いまいずみ子どもの家(大船)、せきや子どもの家(玉縄))

a 意見聴取期間

令和6年(2024年)8月26日(月)から8月31日(土)まで

b 意見数

(a) 実現してほしい取組 354件

(にかいどう子どもの家 79件	こしごえ子どもの家 82件
やまさき子どもの家 78件	いまいずみ子どもの家 56件
せきや子どもの家 59件)

(b) 自分でやってみたい取組 202件

(にかいどう子どもの家 77件	こしごえ子どもの家 26件
やまさき子どもの家 56件	いまいずみ子どもの家 16件
せきや子どもの家 27件)

ウ 意見聴取結果

図表 IX-(3)-ウ-① 市民投票の結果

御意見	市役所本庁舎・支所等		放課後かまくらっ子		御意見	市役所本庁舎・支所等		放課後かまくらっ子	
	実現してほしい	取り組みたい	実現してほしい	取り組みたい		実現してほしい	取り組みたい	実現してほしい	取り組みたい
① 市民自身による地元プロデュース・発信	2	2	16	15	⑬ 地元住民の便宜を図る	3	0	29	27
② Chief Kamakura Future Officer (チーフ・カマクラ・フューチャー・オフィサー)を設定する。	0	0	13	6	⑭ 市民が市政に参加しやすい仕組みを作る。	1	4	7	5
③ 鎌倉らしさの強化プロジェクト	2	3	12	8	⑮ 町内会の活用	2	1	5	2
④ 自然・歴史・文化…を守るための具体的な条例やガイドラインを作成し、実行する。	3	3	17	7	⑯ ふらっと参加できる日常づくり	4	1	28	6
⑤ “古都鎌倉”を保全するため持続可能な財源を持つ。(例)寺院・神社からの協力 観光税 etc.	2	0	6	3	⑰ 既存の施設を利用した全世代が集まれる場所作り	3	2		
⑥ 市民観光バス	5	0	14	7	⑱ 市民の声を伝える手段を作る(LINEとか)	3	0	25	11
⑦ 有料化でも良いので施設を整備する(トイレ、図書館、オムツスペース)	4	1	25	20	⑲ 情報発信・収集統一アプリの開発	3	0	31	30
⑧ 観光税の導入	2	0	15	12	⑳ 市民・観光客向け災害時のマニュアル整備(周知)	6	0	25	9
⑨ 観光の収入化の施策を実行する	7	0			㉑ 若者を巻き込み「鎌倉らしい教育と環境整備」について要望とアイデア収集	3	1	12	6
⑩ トイレやwifiなどを有料化し観光客からお金をとる	2	1			㉒ 「鎌倉らしい教育と環境整備」を実施する制度、カリキュラム、場所(環境)づくりの計画策定	3	2	2	3
⑪ パーク&ライド+ロードプライシング	2	0	14	3	㉓ 市役所をどうしたいか(移転問題)具体化、実行予算の確保	3	1	8	1
⑫ バスネットワーク(公共交通)の増加	3	0	39	14	㉔ 開かれた市長・議会	4	1	11	7